

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 2 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

① ヒアリング

② 採点

③ 審査・採択

3 開催日時

平成 29 年 5 月 22 日（月） 午後 6 時 30 分から午後 9 時 50 分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）
滝沢隆行、武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子
山岸 愛、山岸一之

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【星野会長】

- ・会議録の確認：山岸 愛委員に依頼

議題「(1) 地域活動支援事業について」入る。

今回提案された 12 件の事業について疑問点を解消するために質疑応答を行う。事業者からの事業説明は省略し、質疑応答のみとし、1 件あたり 8 分で行う。進行は事務局のベルにて行う。開始の際、終わりの 1 分前、終了の際のそれぞれ 1 回ベルを鳴らす。それでは開始する。

【野口係長】

- ・「諏-1 諏訪地区交通安全・防犯事業」について概要説明

諏-1 について質疑を求める。

【石黒委員】

交通安全の旗は、風等で傷んでいて、何年かごとに町内での交換も検討していただきたいがどうか。

【諏-1 提案者】

防犯協会では、今回のベストを揃えるときに、子どもたちの横断用の旗も壊れているので、一緒に申請するように要請を受けたので申請した。帽子は小学校の青少年育成会議により昨年度で揃えたので、今回はベストと旗というかたちで申請した。

【山岸 愛委員】

旗が 25 本とあるが、何を基準にこの本数なのか。諏訪小学校の児童数の割には多いような気がする。

【諏-1 提案者】

消耗品なので、今後の予備も含めて今回申請した。25 本にこだわりはない。

【山岸 愛委員】

旗を置く場所はあるのか。

【諏-1 提案者】

横断歩道のところに、旗を入れる缶箱がある。

【山岸 愛委員】

諏訪小学校のところに何か所あるのか。

【諏-1 提案者】

把握していない。

【西嶋委員】

今の旗の件だが、見守りの人が持って歩くことはしていないのか。

【諏-1 提案者】

そういうことはしていない。

【西嶋委員】

例えば、登録者の方が別に預かるとかはしないのか。そしたら無くなってしまうか。

【諏-1 提案者】

実働 10 人くらいなので、配ったとしても残りは横断歩道のところに 2 本ずつくらい置けばよいのかなと思う。

【内山松男委員】

補足だが、横断歩道の旗は、横断歩道のところに置いてあり、子どもたちが横断するときに、安全に渡れるように使う。当初はたくさん入れておいたのだが、だんだんなくなってきたので、今回要望されている。

【山岸一之委員】

私はパトロール委員だが、県道の脇に入れ物を作って旗を入れておくのだが、なくなっている。ある程度紛失しない方法も考えてもらって活用していただければと思う。

ところで、旗は布かポリか。ビニールは巻いておくと、巻き癖がついて開きにくい。できれば布の方がよいと思うのだが、どうか。

【諏-1 提案者】

濡れるということもあるようだし、今回はビニールで進めたいと思っている。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。委員の皆さんは随時採点票を記入していただき、事務局で回収するので手を挙げていただきたい。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

・「諏-7 すわっ子わくわく事業」について概要説明

諏-7 について質疑を求める。

【武田委員】

防犯施設見学等はどこに行くのか分からないのと、昨年度の参加人数を教えてください。

【諏-7 提案者】

小千谷市のそなえ館や、メモリアル回廊をメインに回ってきたいと思っている。昨年度参加状況は、夏休みの5日間は30人くらいの参加があった。夏休み中のキャンプとキッズエアロ、2月の冬のお楽しみ会、3月のヨガ教室は、それぞれ20人前後、保護者も5、6人参加している。

【武田委員】

防犯施設の見学は何のためにやるのか、すわっ子クラブで行く必要があるのか分からないが、毎年度行っているのか。

【諏-7 提案者】

実は、8月に公民館講座で、青少年の防犯講座を行う。それに絡めて、いざというときに何をするかを理解してもらうために、メモリアル回廊等に行って地震体験等を行うことにより、さらに防犯意識を高められるのではないかとということで計画させていただいた。

【川上奈津子委員】

共通活動備品費にあるカメラはなぜ必要か。

【諏-7 提案者】

今までは記録写真は個人のものを使用していたが、上手に活用して記録が残せたらよいと思い申請させていただいた。

【星野会長】

大学生との交流はよい試みだと思うが、この辺の期待する目的や効果は何か。

【諏-7 提案者】

昨年度末に、諏訪小学校に新潟大学の児童文化研究会というところから、夏季巡回講演はどうかという打診があった。校長先生からすわっ子クラブで対応できないだろうかという提案があった。子どもたちにとって、大学生との交流はあまりない機会なので、すわっ子クラブで引き受けた。今回、夏休み中の1日を計画させてもらった。大学生という、諏訪地区にもなかなかいない若い世代と、子どもたちとの交流

で、エネルギッシュな体験をしてもらいたいという思いから計画に入れさせていた
だいた。

【野口係長】

他にないか。

(発言なし)

時間が残っているので、提案者よりPRがあればお願いして終わりにする。

【諏-7 提案者】

昨年度までは「諏訪地区夏休み児童クラブすわっ子サマークラブ事業」というこ
とにしていたが、通年事業化ということで、春休みや冬休み等の活動も含めて、「す
わっ子わくわく事業」と変更させていただいた。活動がさらに充実するようにやっ
ていきたいのでよろしくお願いします。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-2 諏訪唱歌ナツメロ教室事業」について概要説明
- ・ヒアリングの方法について説明

諏-2 について質疑を求める。

【山岸 愛委員】

昨年度の参加者は何人か。

【諏-2 提案者】

24 人である。

【山岸 愛委員】

その方々が今年度も参加されるということか。

【諏-2 提案者】

是非、次年度も参加したいということを聞いている。今週中に1回目を行うが、
まだ参加人数は分からない。

【山岸 愛委員】

事前申し込みではないのか。

【諏-2 提案者】

事前申し込み制だが、何人来るかは当日にならないと分からない。

【石黒委員】

10月に糸魚川に研修に行くようだが、他の団体との交流の目的を教えてください。

【諏-2 提案者】

昨年度は、歌の背景を学習するために中野市にある作曲家の記念館に行ってきた。大潟町の小山作之助という作曲者と糸魚川の相馬御風という作詞家が諏訪村歌を作っている。糸魚川大火もあったことなので、今回は糸魚川に歌の背景の学習のために行く。

昨年度、とても好評だった「ふるさと」の作曲者の記念館を訪ねて、歌の生まれた原風景を回ってみたり、いろいろな業績を調べたら、歌への思い入れがそれ以降全く変わった。いくつになっても歌うことは楽しいという声が出たので、できるだけ機会を設けていきたいと思った。70歳前後が多く、このように補助金がなければ到底参加は無理な話である。もともと公民館事業だったので、地域外からの方も来られており、他の団体とも交流していこうと考えている。

【山岸一之委員】

女性の方が多いように思うが、男性はいるのか。

【諏-2 提案者】

女性のみである。声は掛けているのだが、なかなか参加していただけない。

【星野会長】

昨年度、サークルが発足し、メンバーの方から好評だとも聞いている。昨年度も男性に声を掛けるような話もあったが、なかなか男性の参加率は低いので、仕方がないかと思う。

【諏-2 提案者】

すこやかサロンに4回ほど参加させてもらったが、サロンには男性もいらっしゃる。発表を聞くのではなく、皆で歌いたい曲をリクエストしてもらって、楽しく歌う場になっている。

【星野会長】

歌は元気の源^{みなもと}だし、若い人から高齢者まで歌える良い歌もあるので、交流も含

めて、是非発展させていただきたいと思う。

【滝澤委員】

メンバーのうち諏訪の人と地域外の方は何人か。

【諏-2 提案者】

24人中、半数ずつである。地域外では、妙高市と直江津からも来ている人がいるし、歌う場がなく是非参加したいということで、北諏訪の人も多い。

【滝澤委員】

ホームページを使っていただければ、アピールにもなる。

【松縄委員】

妙高市から来ている人はどうやって知ったのか。

【諏-2 提案者】

「ニックかわらばん」に記事が載ったので、それを見てその日のうちに来られた。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-3 諏訪幼年野球活動推進整備事業」の事業概要を説明
- ・ヒアリングの方法を説明

諏-3 について質疑を求める。

【武田委員】

ユニフォームは大体何年ごとに購入しているのか。

【諏-3 提案者】

監督から聞いた話だと 15 年前くらいに購入したものをずっと着ているようだ。6 年生 3 人、5 年生 2 人、4 年生 5 人、3 年生 1 人、1 年生 1 人。そのうち女の子が 2 人いて合計 12 人だ。サイズの関係もあるので、そこも考慮して提案させていただいた。

【星野会長】

メンバーは、諏訪小学校区で限定しているのか。また、幼年なので 12 歳以上は入れないのか。

【諏-3 提案者】

実際、諏訪小学校は全校児童が 32 人しかいないので、諏訪幼年野球では他の地区の児童も含めて募集している。練習は週 1 回だが、練習日に都合が悪い人も多いので、部員が 12 人となっている。募集をかける際は、地区外も含めているが今のところ、地区外の児童はいない。また、年齢制限については幼年野球のため、小学校までということで、中学校以上は OB として指導していただいたり、練習試合をしている。

【川上奈津子委員】

今、この人数で、今後 3 人抜けたあとはチームとして存続できるのか。

【諏-3 提案者】

正直、学校の存続自体もそうだが、そこはどうなるかは分からない。歴史ある幼年野球チームなので、できれば残していきたいと思うし、少しずつ地道に、1 人でも入っていただけるようにしていきたい。また、そのために環境整備もしていきたい。

【石黒委員】

少ない人数の中で大変だと思うが、参加している子どもたちが張り合いにしている部分もあるので、頑張って維持していただきたい。

【川上副会長】

他校との合同練習等をもっと頻繁にしたらどうか。その辺はどうか。

【諏-3 提案者】

昨年度も、高士小学校のチームと合同で練習試合を 4 回くらい行った。近隣だと戸野目小学校や上雲寺小学校もあるが、相手としてはとても強くて試合にならない。高士小学校だと大体同じようなレベルなので、高士スポーツ広場でやらせていただいた。今年度も 3、4 試合は行いたいと思っている。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

・「諏-4 自家製野菜の料理教室事業」の事業概要を説明

・ヒアリングの方法について説明

諏-4 について質疑を求める。

【滝澤委員】

食材費は参加者負担とあるが、このままで大丈夫か。

【諏-4 提案者】

今回は8回の開催予定で、参加費については500円で設定しており、参加者からも自己負担額が高いという声もないので、このままのかたちでいこうと考えている。

【川上副会長】

1回に1つ以上の地元野菜を使用するレシピとあるが、地元野菜というのはどういったものを考えているのか。

【諏-4 提案者】

講師が自宅で作った季節の野菜を持って来てくれて、レシピも考えてくださって、先生に習いながら作るというかたちだ。今回はこの講師の都合が悪いということで諏訪地区からの先生になったのだが、採れた野菜も加えながら、足りない野菜は参加費の中から買うようになっている。

【川上副会長】

講師にお願いするばかりでなく、皆さんが家庭で作っている野菜を持ち寄るのもよいと思うので、考えていただきたい。

【諏-4 提案者】

サロンへの参加のときは、持ち寄った野菜でやっていた。

【山岸 愛委員】

今まではレストランの先生だったが、地元の講師になったということで、スケジュール的には参加できない人のために、諏訪のホームページにレシピや料理をアップしてみたらどうか。

【諏-4 提案者】

文化祭でも掲示しているし、公民館主事と協力してできたらよいと思う。

【西嶋委員】

昨年度は、そば打ち体験はホームページでお知らせしたが、レシピの掲載はやっていない。

【山岸 愛委員】

そういうのがあれば、行けなくても作ってみようとか、来年度は参加してみようとかイメージも繋がりやすいのかと思う。

【諏-4 提案者】

参考にさせていただく。

【滝澤委員】

メンバー構成は諏訪のみなのか。

【諏-4 提案者】

昨年度は諏訪以外の方も参加されていたので、今年度もそのように行う。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-9 諏訪区防災士会事業」の事業概要を説明
- ・ヒアリングの方法について説明

諏-9 について質疑を求める。

【滝澤委員】

市からの所見で、設置後の管理は、防災士会が行うこととあるが、今後どの程度導入されていくのか。提案書には計画を見直すとも書いてあるが、そこら辺はどのように考えているのか。

【諏-9 提案者】

AED に関しては、西部地区では「いなほ園」から借用していて、南部、東部については、必ず月に1回、目視による点検をして点検簿を付けている。

【川上副会長】

AED 壁掛け型収納ケースはどのような使い方をするのか。

【諏-9 提案者】

設置場所によっては施錠してあるところと、していないところがある。緊急を要することなので、その都度鍵を開けていると間に合わなくなるので、外付け用の壁掛け収納ケースである。

【川上副会長】

どこに設置するのか。

【諏-9 提案者】

会館や公民館の軒下である。

【内山恵悟委員】

AED の講習を受けた。私は 2 人暮らしだが、どちらか 1 人が倒れたときに AED を取りに行くのは考えにくいので、人口呼吸をして救急車を呼ぶことになると思う。わざわざ、誰かに AED を取りに行ってもらうのも考えにくいですが、どのような考えでいけばよいのか。

【諏-9 提案者】

今のお話の場合だと、救急車を呼ぶことと、AED もあることで、2 重の安全性を得ることができることとして AED を設置している。

【山岸 愛委員】

西部において、今は「いなほ園」から借りることになっているが、西部に 1 台設置する場所はどこか。

【諏-9 提案者】

西部の町内会長さんにお聞きし、どこかの町内会長さん宅に置く予定だが、まだ決まっていない。決まり次第、防災士会に連絡が入る予定である。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-6 諏訪の里づくり活動事業」の事業概要を説明
- ・ヒアリングの方法について説明

諏-6 について質疑を求める。

【川上副会長】

提案書中の支出の部で、池の平でのスキー活動で相当額の申請額があるが、どのくらいの参加なのか。

【諏-6 提案者】

子どもたちだけでなく、親も参加していただいている。人数の把握まではしていない。

【山岸一之委員】

事業の「4 板碑と街道」案内板の更新とあるが、これについてどのようなものなのか教えてほしい。

【諏-6 提案者】

委員は提案書を読んでいないのか。説明する。諏訪地区には2つあり、1つは川室病院の創設者である川室道一先生で、北新保のお宮さんのところにある。もう1つは「板碑と街道」で勝名寺にある。勝名寺さんの境内に板碑があり、南北朝時代に新田義貞の勢力下にあり、度々足利との戦闘が行われたと伝えられている。薬研彫りの地蔵が刻まれている。石質は凝灰岩で、高さは45センチメートルほどあり、傘のように突き出ている。歴史的に非常に貴重な諏訪地区の財産だと考えている。

【内山松男委員】

場所は今の場所と同じか。

【諏-6 提案者】

現在の場所である。

参考までに、諏訪の里づくり協議会の提案は、今年度からは諏訪地区の全ての町内会長に提案書の写しを配布してある。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-5 芳澤謙吉翁顕彰事業」
- ・ヒアリングの方法を説明

諏-5 について質疑を求める。

【星野会長】

講演会には「犬養木堂ぼくどうのこと」とあるが、犬養内閣と関係があるのか教えていただきたい。

【諏-5 提案者】

最近、一通の絵葉書が出てきて、謙吉の奥さんで犬養毅の長女（^{みさお}操）が謙吉の母（スガ）に宛てた避暑地からのご機嫌伺いの葉書だ。その中に「パパはとても忙しい」と書いてあり、この時代で“パパ”と呼んでいたというのは、とても新鮮だった。1月から5・15事件に遭遇するまで外務大臣を務めていた。

ちなみに、今回講演いただく忠雄さんは、芳澤謙吉の次男（秀雄）の長男で、昭和18年生まれの人と同級生である。広くいえば、上真砂っ子の同好会になるのではないかと思う。

【山岸 愛委員】

米南荘は、申請等すれば誰でも使えるのか。

【諏-5 提案者】

使える。もっと米南荘の有効活用をしたいということで、今回電気釜を購入する。

【山岸 愛委員】

ホームページ等で「お茶会にご利用ください」とアナウンスするとかは考えているのか。

【諏-5 提案者】

追々していきたいと思っている。

【山岸 愛委員】

せっかくなので活用したいと思い、私の所属している会社で発行しているフリーペーパー等で、「お茶会をやらないか」と募るのに会場として貸していただくことは可能なのか。

【諏-5 提案者】

可能だ。是非、皆さんも義の心得を育んでいただければと思う。

【山岸 愛委員】

お茶をたてられる人を呼べばよいか。

【諏-5 提案者】

真似事でも、素人の楽しみ会でもよいと私は思う。

【山岸 愛委員】

気軽に使えるお茶室があるということを知れば、何かのタイミングで集まろうということもできるのだろうと思う。せっかく素敵なものが諏訪にあるので、諏訪地

区以外の人やお茶の好きな人がいれば、いろいろと活用できたらよいなと思った。

【諏-5 提案者】

電気釜の付録に、お茶碗も付けてくださるようなので、お茶以外は何も持って来なくても気軽にご利用できるのではないかと思う。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-8 くびき野諏訪ホームページ運営事業」の事業概要を説明
- ・ヒアリングの方法について説明

諏-8 について質疑を求める。

【星野会長】

ホームページを開設して諏訪地区の知名度が上がったと思う。ホームページの最近の閲覧状況をお聞きしたい。また、ホームページに載せたい情報があるときに、誰に伝えれば載せてもらえるのか。

【諏-8 提案者】

閲覧状況だが、毎日 20～30 件の閲覧がある。地元からが一番多く、パソコンでの閲覧は上越や新潟が多い。スマートフォン等での閲覧は東京経由になるので、正確な総数は出ない。ほか、海外からの閲覧も数件ある。

ホームページに載せたいものがあれば、私どもに記事と内容や写真などをいただければアップできる。また公民館主事を通じてでもよいし、メールでもお受けする。

【山岸 愛委員】

その場合、どのくらいの期間で掲載されるのか。また、閲覧数を上げるために、引っかけやすいキーワードとかあるのか、何か対策はあるのか。20 から 30 件の閲覧数では決して多くないし、「くびき野諏訪」と打ち込まないと検索に引っかけられないのだが、「二貫寺の森」で検索したら出てくるように SEO (Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化) でキーワードに入っているのか。

【諏-8 提案者】

掲載時間については、記事をいただいてから、最低 2、3 日、遅くても 1 週間程度

である。また、SEO 対策は「諏訪」、「くびき野」で検索に引っかかるような対策はしていたが「二貫寺の森」は入れていないので今後考えていく。

【滝澤委員】

これまで提案しているのだが、支援事業にはイベントの提案が多いので、これらを全てホームページに載せればよいのではないかと委員からも案が出ている。イベント等に取材に来ていただくか、こちらからもアピールしなければいけないが、いずれにしても、諏訪でやっている活動をホームページで発信していただけたらと思う。よろしくをお願いしたい。

【諏-8 提案者】

もっと身近に使っていただきたいと思っているので、載せる記事と写真があればできるので、こちらにいただければよいと思う。

【山岸一之委員】

今年度の提案に「全天球カメラ」とあるが、これは何か。

【諏-8 提案者】

360度カメラで、魚眼レンズが付いていて、1回写真を撮ると一周り撮れるカメラである。これを使って二貫寺の森を撮影し、目標としているのはグーグルにて検索されてもよいように載せることである。

【野口係長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-10 雄志中学校グラウンド整備事業」の事業概要を説明
- ・ヒアリングの方法について説明

諏-10 について質疑を求める。

【山岸一之委員】

写真を見るとベンチは随分古いのが、古いものを撤去して新しいものを置くことになるのだと思うが、材質はどのようなものか。

【諏-10 提案者】

公共の場にある背もたれのついた長椅子型である。材質は写真にあるものと同じ

ようなタイプになる。

【石黒委員】

諏訪区のほか、津有区と高士区の3区にまたがって提案されているが、諏訪区のように人口が少ない区でも均等割だと配分額に占める割合が高くなり、他の提案事業ができなくなることに繋がるのではないかと思う。他の区から何かそういった意見はでなかったのか。

【諏-10 提案者】

先般、高士区のヒアリングに行ってきたが、そのような意見は出なかった。ただ、高士区では予算オーバーしていたので、削られる可能性も出てくるかもしれないが、委員さんの審査に委ねられている。

【滝澤委員】

減額された場合は、ベンチの数を減らすことになるのか。

【諏-10 提案者】

高士区でも予算が削られたらどうするのかと質問があったが、減額になった場合は雄志中学校野球部保護者会と相談する。

今回は保護者会で申請を出させていただいたが、7月にPTA交流試合の雄志杯、10月には幼年野球の大会が雄志中学校で開催される。また、体育祭や地域の方に見に来てもらう行事にも活用するので、そこら辺も考慮いただけるとありがたい。

【山岸一之委員】

撤去費用は支出に載っていないが、どのようにされるのか。

【諏-10 提案者】

保護者会費から捻出する。

【星野会長】

ベンチは移動できるようにするのか。

【諏-10 提案者】

固定せずに移動できるようにする。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諏-11 『地域に元気を！』雄志太鼓活動支援事業」の事業概要を説明
 - ・ヒアリングの方法について説明
- 諏-11 について質疑を求める。

【山岸一之委員】

対象地域自治区は「諏訪区」となっているが、津有区と高士区も入るのか。

【諏-11 提案者】

この提案は、諏訪区、津有区、高士区の3区に申請しているが、この提案書は諏訪区への提案書である。歳入の内容の詳細を見ていただくと分かるが、3区の按分分も載せてある。

【星野会長】

構成人数が30人となっているが、年々生徒が減ってきているのに、他の部活動よりも人数が多いのかと思うが、どうか。

【諏-11 提案者】

構成員の37人は青少年育成会議の大人の数である。それと、雄志太鼓は部活とは別なので、他の部活に所属しながら太鼓をしている。現状の子どもの人数は34人でその中では諏訪区の子どもの数が一番多かったような気がする。

【星野会長】

練習時間や指導者はどのようになっているのか。

【諏-11 提案者】

太鼓部の担当の先生が統括し、指導者は毎年代わっているが、去年は頸城区の指導者に来てもらっていた。

昨年度に買っていただいた中には担ぎ太鼓があり、今までにない試みだったが、大変好評だったようである。

【川上副会長】

教える方が代わるということは、雄志太鼓自体の中身が変わってしまうのではないかと。どういうふうに練習をしているのか。考え方を教えてほしい。

【諏-11 提案者】

雄志太鼓の歴史は平成元年、雄志中学校ができたときに始まっている。元々、津

有中学校のときに40年くらいの歴史のある「鴻南太鼓」というものがあったのだが、それを引き継いだかたちでスタートした。そこで25年間ずっと見てきているなかでも、少しずつリズムが変わっている。いろいろな指導者から指導を受けて、もっとよいものを残していきたい、進化させていきたいという思いがある。上越市内に22の中学校があるが、太鼓部があるのは雄志中学校だけなので、その独自性を大切にしたいと思っている。

【山岸 愛委員】

昨年度も何台か買われたようだが、今年度も8台買うとなれば全体でどのようなボリュームになるのか。

【諏-11 提案者】

大太鼓が3、中太鼓が7、樽太鼓が8である。樽太鼓に関しては表面を叩くので、だんだん削れてくる。今回新規で購入したいという本当の目的は、1年生用の絶対数が足りないなので、そこを解消していきたい。また、演奏のバリエーションを増やしていきたいと思っている。

【川上奈津子委員】

今回法被を提案しているが、これに草履と足袋がセットになっていないのか。

【諏-11 提案者】

担当の先生から出てきたリストから作成した必要数である。

【川上奈津子委員】

息子がお世話になっていた頃は、足袋と草履が足りなかった。1年生は裸足だったので、もし余裕があれば、そちらもお願いしたい。

【諏 11 提案者】

頂いたご意見として組織に持ち帰って、自主財源からでも購入を検討する。

【西嶋委員】

裸足でやっている子はいないと思うが。

【諏-11 提案者】

一昨年に、25年間使っていた法被が古くなっていたので、購入させていただいたが、そのときに足袋とかもあったと思う。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【野口係長】

- ・「諷-12 雄志中学校区をセパタクロで活性化させる事業」の事業概要を説明
 - ・ヒアリングの方法について説明
- 諷-12 について質疑を求める。

【山岸 愛委員】

諷訪小学校で週 2 回やられているとのことだが、諷訪小学校のお子さんはどのくらい参加されているのか。

【諷-12 提案者】

チラシを置いたり、フェイスブック、ツイッターでも情報発信しているが、なかなかやりたい人が少ない。子どもは諷訪小学校の 6 年生が 1 人、雄志中学校の生徒が 1 人、春日区から 1 人で、残りは大人である。

【山岸 愛委員】

何をきっかけにセパタクロをやろうと思ったのか。

【諷-12 提案者】

妙高ふれあいパークにて、昨年まで毎年 5 月の連休に延べ 14 回開催されている。第 2 回の大会で初めて見て、魅力を感じた。それから 1 人で講習会もしていた。友達を連れていくところから始まって、今に至る。セパタクロはサッカーを上達するための 1 つの手段とも言われている。落としてはいけないルールがあるので、リフティングができないと競技にはならない。蹴鞠けまりのように 3 対 3 でネットを挟んで行い、何回続けてできるかである。

セパタクロは体の柔軟性も必要なので、小さい頃からやっていると競技は上手くなるということもあるし、自分自身の柔軟性もついてきたので、小さい子たちを育てていけたらよいと思う。

【滝澤委員】

こちらも諷訪のホームページとかに載せたらどうか。

【諷-12 提案者】

昨年度、ホームページに載せてもらいたいと話をしたが、実際は載せてもらうに

は至っていない。

【滝澤委員】

諏訪でやっていることを周りに発信できるように、ホームページを使っていただければメンバーも増えるかもしれないので活用してほしい。

【野口係長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席 委員採点 —

【星野会長】

以上で提案者への全ヒアリングを終了する。全ての採点が終わった方から順次休憩に入ってください、結果がまとまり次第、会議を再開する。

— 事務局集計・委員休憩 —

【野口係長】

会議を再開する。

・集計結果を発表

【星野会長】

次第「③審査・採択」に入る。今回は予算額を割っているなので、全ての事業を採択することとするか協議し、そのあとに補助額について協議を行う。

まずは、“全て採択する”ということによいか。

(「よし」の声)

それでは、“全て採択する”ということに決定した。

次に補助額について決めていく。採択した事業のうち補助額は申請のあった額のとおりとするか、もしくは一部減額にするかを協議する。

では、“申請のあったとおりの額”としてよいか。

(「よし」の声)

“申請のあった額のとおり”に決定した。

以上で1次募集にかかる審査・採択を全て終了した。提案者には事務局から早々に結果を通知していただく。

また、残額については前回の会議で“2次募集を行うこと”と決定しているが、それでよいか。

(「よし」の声)

【石黒委員】

今の段階で、自主審議に関わる“移住促進”の提案が何かあるということか。

【星野会長】

まずは組織を作りたいと思うが、そのためには発足するための話合いの場を設けなければいけない。今後、諏訪区の住民の中で募集をかけて、進めていくメンバーを集めて、さらに協議会からも意気込みのある方から一緒に加わってもらい、組織を作っていくかたちである。まず組織を立ち上げて、具体的にどのようにするのかを議論していかないと、話が進まない。そういうときに、長野県の「ざいごう」を事例に勉強会を開くことで、次に進めるのではないかと考えている。誰にお願いしたいという腹案はないが、協議会からも移住促進に関わるメンバーになっていただきたい。

【滝澤委員】

2次募集に間に合わない可能性もあるがどうか。

【星野会長】

間に合わない可能性もあるが、なるべく間に合わせる方向で進めていければよいと思う。いずれにしても、このメンバーで「ざいごう」を見学することは年間行事で決まっているので、知識を積んでいくことをやっていけたらよいと思う。

【川上副会長】

組織を立ち上げて、良い方向に進めたらよいと思う。

【星野会長】

組織を作ることにつながるように、正副会長と事務局とで募集期間、募集方法、審査の方法なども1次募集を基本形として、一任していただけたらよいと思うが、いかがか。

(「よし」の声)

決まり次第、皆さんにお伝えする。

その他、事務局に説明を求める。

【野口係長】

・ 次回の協議会：6月15日（木）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室

【星野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。